



四條畷市議会議員

ながはた

長畑ひろのり News



発行：2009.09.01

- 市政報告09月号 -

vol.027

ご意見は次のeメールアドレスへ
公式HP & ブログは次のURLへ

sky@nagahata.jp
http://nagahata.jp

phone：072-878-3205
fax：072-877-1194

こんにちは、市政報告です！

先月は国政選挙があり、私の駅でのチラシ配布も変則となりましたが、また通常の活動に戻していきたいと思えます。

「市の健全度&努力度」について

ちょうど一年前の15号でも報告しましたが、今年も7月23日に、(財)関西社会経済研究所が自治体財政健全性の研究結果概要を発表しました。775市の2006年度決算を基に調査研究した結果を右に表で示します。

まず言葉の説明ですが、(財)関西社会経済研究所の説明を少し引用しますと、基礎的経常収支は各自治体が建設事業を除く経常的な行政サービスの提供を健全な財政運営に基づいて展開しているかどうかを示す指標です。この収支がプラスであれば、自治体はその資金を建設事業に充当するか借入の返済にあてることが可能となります。

しかし、自治体の歳入には国からの地方交付税が含まれ、地方交付税を加えたままを表①「基礎的経常収支Ⅰ」とし、国が算定する標準的な行政を維持するための経費の水準が大きく影響しています(本市は全国775市のうち773位)。

そこで、収入から地方交付税を除いた表②「基礎的経常収支Ⅱ」とし、公債費や建設事業費を除いた経常的な支出を補えるかを判断する指標を基にしています。あくまで単年度の財政運営の余裕度ですが、順位が上位である程、借金返済などに回す余裕があると判断できます。これを《市の財政健全度》とします(本市は同じく全国のうち514位)。

次に、表③「非裁量的要因を考慮した財政評価」ですが、地方自治体の財政状況に影響を及ぼしていると考えられる環境要因を考慮したものです。基礎的財政収支から非裁量的要因(歳入面では1人当たり地方税、歳出面では65歳以上人口比率)を取り除き、各自治体が効率的な財政運営を行っているかどうかの評価が出ます。これを《市の経営努力度》とし、この結果が一番重要です。本市は全国775市のうちで741位と残念ながら非常に悪いと言わざるを得ません。

しかし、逆に考えれば、まだまだ経営努力によって本市は

《市の財政健全度》 (単位:千円/人)

① 基礎的経常収支Ⅰ

② 基礎的経常収支Ⅱ

順位	都道府県	都市	金額	順位	都道府県	都市	金額
1位	静岡県	御前崎市	246.3	1位	静岡県	御前崎市	216.3
8位	兵庫県	養父市	186.8	4位	兵庫県	芦屋市	146.5
15位	兵庫県	芦屋市	160.6	51位	大阪府	大阪市	64.5
221位	大阪府	大阪市	83.3	104位	大阪府	泉佐野市	48.4
457位	大阪府	泉佐野市	60.8	118位	大阪府	箕面市	44.6
642位	大阪府	箕面市	45.5	139位	大阪府	茨木市	40.0
647位	大阪府	枚方市	45.1	145位	大阪府	摂津市	38.5
668位	大阪府	摂津市	42.0	156位	大阪府	吹田市	36.1
675位	大阪府	交野市	41.2	210位	大阪府	枚方市	25.8
676位	大阪府	岸和田市	41.2	302位	大阪府	大東市	8.7
681位	大阪府	茨木市	40.7	313位	大阪府	交野市	4.8
714位	大阪府	吹田市	36.4	367位	大阪府	寝屋川市	-7.9
737位	大阪府	寝屋川市	32.4	409位	大阪府	門真市	-16.2
762位	大阪府	門真市	22.3	430位	大阪府	富田林市	-21.1
767位	大阪府	富田林市	19.3	442位	大阪府	守口市	-23.5
770位	大阪府	松原市	18.4	445位	大阪府	岸和田市	-24.1
771位	大阪府	大東市	16.5	513位	大阪府	松原市	-41.1
773位	大阪府	四條畷市	13.8	514位	大阪府	四條畷市	-41.5
774位	大阪府	守口市	9.7	773位	兵庫県	養父市	-132.5
775位	大阪府	藤井寺市	5.7	775位	北海道	深川市	-236.5

良くなるという事です。

《市の経営努力度》

③ 非裁量的要因を考慮した財政評価

ところで、昨年の2005年決算から算出したものと比較しますと、表②の基礎的経常収支Ⅱについては-46,200円から-41,500円と、少し良い結果になっています。

また、表③の非裁量的要因を考慮した財政評価は、-53,800円から-46,900円と、こちらも少し良い結果になっています。

計算方法は、基礎的経常収支Ⅱの-41,500円から、1人当たりの地方税と65歳以上の人口を考慮した数字の5,400円を引いた結果が、-46,900円となります。

順位	都道府県	都市
1位	岐阜県	飛騨市
21位	兵庫県	芦屋市
217位	兵庫県	神戸市
332位	奈良県	奈良市
398位	大阪府	交野市
420位	大阪府	枚方市
473位	大阪府	寝屋川市
502位	大阪府	泉佐野市
505位	大阪府	豊中市
575位	大阪府	茨木市
602位	大阪府	岸和田市
608位	大阪府	大東市
630位	大阪府	箕面市
703位	大阪府	吹田市
707位	大阪府	藤井寺市
722位	大阪府	門真市
735位	大阪府	守口市
741位	大阪府	四條畷市
757位	大阪府	大阪市
769位	大阪府	摂津市
775位	北海道	深川市

「公社保有地買戻し」について

岡山東部地区開発事業中止により約28億1,800万円（特別土地保有税約25億3,100万円と延滞金約2億8,700万円）が市に入ったことは市政報告 vol.12 にて、また、忍ヶ丘駅前用地を含む公社保有地については vol.8 にて報告しました。

vol.12 の時点では、特別土地保有税の約25億3,100万円入ったことにより、その歳入額に対する地方交付税が75%（約19億円）減額される可能性が残っていたのですが、本年7月10日に開催された平成21年度普通地方交付税算定説明会において減額されないことがわかりました。それにより公社保有地の買戻し計画が一段と進むことになりました。

以下に実績と計画の報告をします。

○平成20年度特別土地保有税等の利用実績・・・

- ・土地開発公社所有地購入 5億円
- ・一般会計基金繰入金減額 2億円
- ・公団借入金繰上償還 8,200万円
- ・一般会計赤字ほてん 3億6,500万円
- ・大阪府貸付金繰上償還 1億2,700万円
- ・財政調整基金積立 15億4,400万円

以上の合計が28億1,800万円となり、そのうち、財政調整基金の15億4,400万円を平成21年度に使います。

○平成21年度特別土地保有税等の利用計画・・・

- ・忍ヶ丘駅前用地及び清掃施設組合用地以外の全ての用地 8億9,800万円
- ・忍ヶ丘駅前用地の一部（経営健全化計画買戻し部分以外） 1億7,700万円
- ・公共用地先行取得等事業債の発行額の減額 4億6,900万円

以上の合計が15億4,400万円となり、岡山東部地区開発事業中止で入った28億1,800万円は全て使い切ります。

四條畷市土地開発公社の残る保有地は、問題の忍ヶ丘駅前用地（現タイムズ駐車場）となるのですが、ここの買戻し計画は以下の通りとなります。

○平成22年度以後の忍ヶ丘駅前用地買戻し計画・・・

- ・平成22年度（5億円起債） 6億5,000万円
- ・平成23年度（3億円起債） 4億5,000万円
- ・平成24年度（2億円起債） 3億5,000万円

以上の平成24年で買戻しは完了しますが、平成20年度の5億円と合わせて15億円の起債、つまり借金は残ります。

全て計画通り公社保有地の買戻しが完了すれば、残るのは四條畷市交野市（四交）清掃組合用地の利子分約1億2,842万円含んだ約8億2,260万円のみとなります。しかし、この新ゴミ焼却炉の土地は、四交清掃組合が直接土地開発公社から取得することになり、対応は今後検討と決まりました。

「町立四條畷病院」について

今まで、本市の歴史的な内容（主に発掘物に関して）は、市政報告チラシで何度も取り上げてきましたが、近現代史については何も書いてきませんでした。来年市制40周年を迎えることですので、この数十年における市の歴史もこれから取り上げていきたいと思えます。まずは町立病院についてです。

先月1日の産経新聞に、市立貝塚病院・市立泉佐野病院・阪南市立病院・府立泉州救命救急センターの公立4病院が、将来的な経営統合に向け合意に達したと載っていました。このことにより「地域医療再生臨時特例交付金」100億円の獲得を目指すそうです。この様に、自治体が経営しているほとんどの病院は経営が苦しく、本市も病院を経営していれば問題を抱えていたでしょう。



町立四條畷病院

しかし、四條畷市史にすら関連する記事は載っていませんので仕方ないのかも知れませんが、本市にも町立病院は存在しました。但し、町立病院として存在したのは、わずか18ヶ月間（国民健康保険…を除く）ととても短い期間です。

私も記憶をたどれば、町立病院ではすでに無かったのですが、小学生の頃に写真の病院へ通っていたのを覚えています。

S.07年 4月1日	甲可村 改め 四條畷村が発足
S.22年 7月1日	四條畷町が誕生
※ S.27年	「国民健康保険直営診療所」を開設 場所は、現在の山内医院
S.28年 4月1日	「国民健康保険直営診療所」を新築 場所は、現在の松吉医院
S.29年 4月1日	「国民健康保険直営病院」に変更
※ S.30年 1月	「国民健康保険直営病院」を全焼
※ S.31年	「国民健康保険直営病院」を再建築 (漏電が原因で全焼しましたが、すぐに火災保険が適用され新病院が建ったそうです)
S.38年 4月1日	「国民健康保険四條畷病院」に変更
S.41年 4月1日	「町立四條畷病院」に変更
S.42年 10月1日	「町立四條畷病院」を廃止
S.45年 7月1日	四條畷市が誕生

※印の日付については、記録として見つけることが出来ず確かではありません。

大阪府、公立4病院統合へ

医師不足等の解決策 医療再生臨時交付金 南部の市立3病院と府立泉佐野救命救急センター(泉州)を統合し、大阪府が、泉州に獲得を目指す。

野市)を経営統
行政法人化する
が3日、分かつ
策定して厚生労
1,100億円